

21世紀の日本のかたち（148）

戦争と平和

—日本の近現代史にみる—



戸沼幸市

<(一財)日本開発構想研究所 顧問>

1. 2024年夏—ガザの惨状、ロシアのウクラ イナ侵攻

①パレスチナ・ガザへの侵攻、ガザの惨状

昨年、2023年10月7日、イスラム組織「ハマス」が「イスラエル」に奇襲攻撃、イスラエル側に死者100人と報じられました。これに対してイスラエルは直ちに反撃、ガザ地区を空爆。年が変わって、2024年6月時点においても、イスラエルのガザ市街地への攻撃が続いています。ガザの死者3.5万人、破壊された瓦礫の下に1万人の遺体（死者の7割が女性と子供）があると報じられています。ガザの建物の半数が被害、ガザの避難民190万人以上と報じられています。

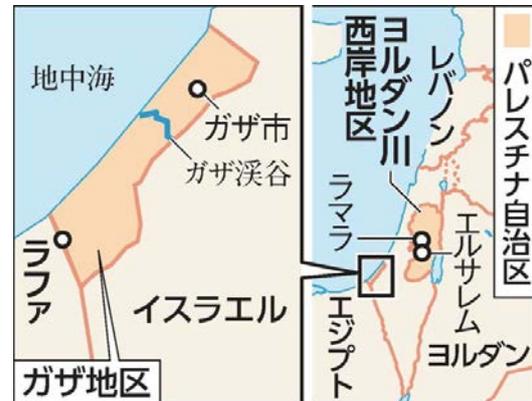
今年5月に入って、停戦の動きが報じられています。6月、ガザ、一時軍事行動停止の

動き、エジプト大統領ガザへの攻撃は「ジェノサイド」集団殺害だ。ハマス、停戦に前向き。米国はガザ停戦を強く望む。

今も、死傷者に重ねて、重度の栄養失調状態にあるガザの子供たちの映像が流れています。

図1-1 半年間の戦闘による被害

ガザ・イスラエル



出典：www.asahi.com 2024.4.7

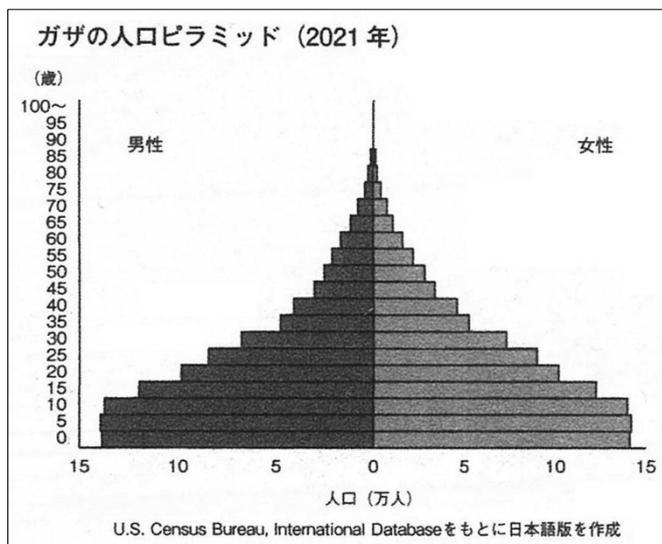
図1-2 半年間の戦闘による被害 ガザ・イスラエル

■半年間の戦闘による被害	
ガザ	イスラエル
死者 3万3091人	死者 約1500人
負傷者 7万5750人	(うち兵士255人)
避難民数 170万人	負傷者 約5400人
破壊された住宅数 7万棟以上	人質 約100人
インフラ被害額 185億ドル	
(2兆8千億円相当)	

※国連、世界銀行、ガザ保健省などの4月5日までの発表から

出典：朝日新聞 2024.4.7

図2 ガザの人口ピラミッド (2021年)



出典『ガザとは何か』

「ガザ」は、イスラエルの占領下であり、2007年以降、完全封鎖下におかれている。

ガザの住民、1948年、イスラエルの建国に伴う民族浄化によって、故郷を追われて難民となった人とその子孫。ガザは完全封鎖下におかれ、今年17年目。

『ガザとは何か』岡真理 著、大和書房、2023

②ロシアのウクライナへの侵攻

2022年2月24日、ロシアがウクライナに侵攻してから2年を経過し、3年目に入っています。この間、ウクライナ側の死者は2年間で3.1万人、国外避難は5月中旬で約649万人が外国へ、約369万人が国内でと報じられています。これに対してロシアの死者は5万人超と英紙・BBCは報じています。

2024年3月のロシア大統領選挙に圧勝したプーチン大統領には、ウクライナ侵略でいまだ妥協する気配が感じられません。

ウクライナを支援する西側、米国はこの4月に入って、防空砲弾など武器9.4兆円を下院

において可決、生命線の砲弾、ローテク兵器の生産を急ぐとしています。

また、ロシア領内への攻撃を一部許可しました。ウクライナ支援を積極的に進めるチェコの大統領は、チェコが主導する80万発の砲弾調達計画のうち、砲弾数万発をウクライナに数週間以内に搬入する見通し（朝日新聞6月8日）であると述べています。

2年余にわたるロシアのウクライナ侵攻は、少なからずロシアの弱体化を顕し始めてもいる様子です。ロシアは米制裁で貿易が孤立、輸入総額は1割減、インフレ再現、中国金融機関等の決済停止、兵器生産停滞と継戦に影響が出ている様子です（日経6月4日）。

6月14日、ベルリンで開かれていたG7主要7カ国の会議では、ウクライナ支援の基金創設で合意—ロシアの凍結資産の運用益を活用して、500億ドル（7兆8,500億円）の資金支援を実施する。

これに合わせて、日本、岸田首相は、地雷除去、防衛装備品の提供、エネルギー分野の技術支援などを申し出ました。

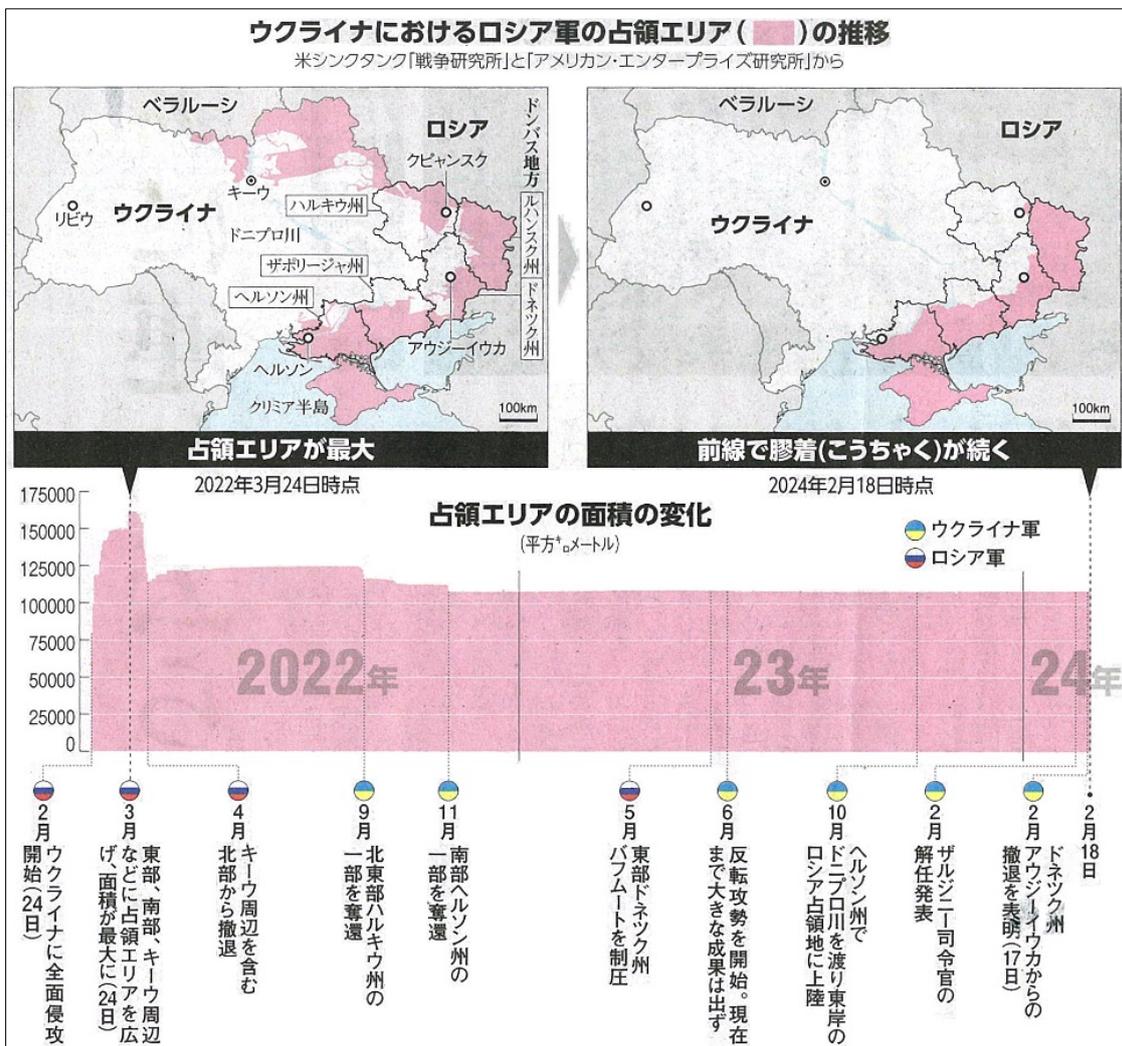
ロシア経済は中国に少なからず依存しています。中国は米欧の圧力に慎重ですが、今こそ「短期的利害で親ロに固執するのではなく、世界の平和と安定という大局をみすえ大国の責任を果たすこと。それこそ中国がとるべき道だ。」(朝日新聞、5月18日)

私はかつて、青森県鮭ヶ沢町と極東ロシア・ナホトカとの友好協定のため、ロシアを

たびたび訪れています。シベリア鉄道には幾度も乗っています。大学教師時代には、ロシアからの留学生も受け入れました。ロシアのウクライナ侵攻は非常に残念なことです。プーチン氏はロシア自身のためにも、ただちにウクライナ侵攻をやめるべきです。

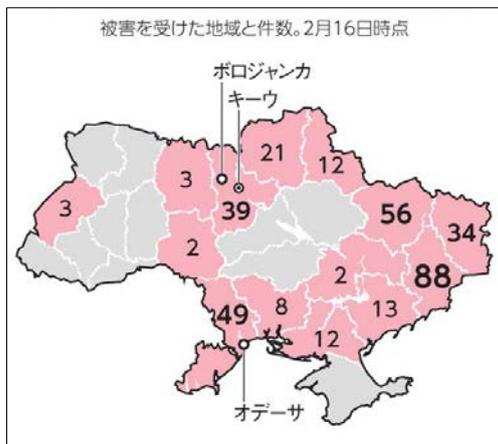
トルストイの『戦争と平和』を改めて読み直しています。

図3 ウクライナにおけるロシア軍の占領エリアの推移



出典：朝日新聞 2024.2.20

図4 ウクライナ国内の文化財の被害状況
芸術さえ壊される 300ヶ所以上



出典：www.asahi.com 2024.2.20

2. 昭和史（戦前、戦後）を読み解く

2-1 昭和史に重なる私の個人史（1933年～2024年）

私は青森県鮎ヶ沢町生まれで、1才の時、父の仕事（建設業）の関係で、北海道・函館に移り、18年間を過ごしました。

太平洋戦争が始まったのは私が小学校（国民学校）1年生の時でした。1941（昭和16）年12月8日、ハワイ・真珠湾に停泊していたアメリカの軍艦へ日本の攻撃機が奇襲攻撃し、太平洋戦争の幕開けとなりました。

戦争が始まってまもなく、父は徴用で北海道の最北端、中頓別・猿払に軍の施設づくりに駆り出されましたが、私も父に連れられてこの地を訪れたことが記憶に残っております。戦況が進み、1943（昭和18）年5月には一緒に住んでいた従兄がアッツ島で戦死しました。戦局が厳しくなるにつれ、私などの家族も主食は米ではなくジャガイモになりました。

函館には函館山に要塞軍事施設があり、時にB-29が来襲し、自宅付近に米軍機から発射された“弾”が飛んできました。家族：祖母、母、姉、弟2人、妹2人と私は、空襲警報が鳴

るたびに防空壕に避難しておりました。

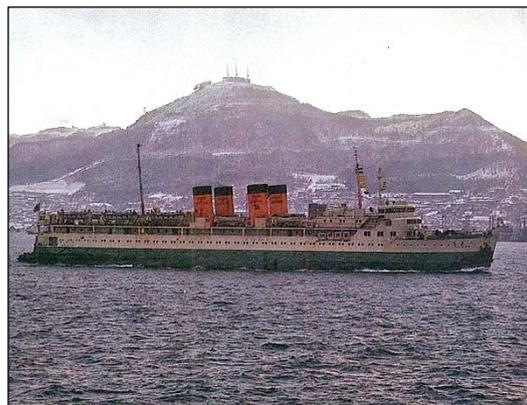
北海道は工業生産のための石炭供給地でしたが、本土に運ぶため青函貨物輸送が戦時中急激に増加、最高では1日に21運航したことが記録されています。

1945（昭和20）年7月14日未明、函館に空襲警報が鳴り響き、15日、本州・青森と北海道・函館間の航路、津軽海峡の交通分断を目的に、グラマン機が間断なく来襲しました。船舶12隻のうち、貨客船4隻、貨物船6隻が沈没、2隻が損傷、と記録されております。

注）『青函連絡船』坂本幸四郎 著、1983.11.20

朝日イブニングニュース社

写真1 青函連絡船 大雪丸（初代）



出典：『青函連絡船』

写真2 かつぎ屋



出典：『青函連絡船』

写真3 かつぎ屋

戦時中も青森・函館間では女性たちが
米などを運んでいた



出典：『青函連絡船』

戦争が終わったのは小学校6年の夏でした。

1945（昭和20）年8月15日正午の天皇の終戦放送は自宅のラジオで聞きましたが、雑音が多く、大人たちの様子からようやく太平洋戦争が終わったことを知りました。ミンミンゼミが鳴いていた暑い夏の日でした。終戦直後には自宅にアメリカ兵が土足でやってきたことも覚えています。

私は昭和21年3月に小学校を終え、道立函館工業併設中学校に進学しましたが、戦争の影が濃く、生徒の家庭環境が様々で、先生にも復員した人がおり、学校にもしばらくは戦争の影がありました。生徒の年齢もまちまちで落ち着かないものでした。

戦後、2、3年が経ち、ようやく新しい時代への立ち直りが感じられるようになり、私はスキーに熱中してゆきました。

中学を終え、函館工業高等学校に入りましたが、自分の進路について改めて考え、一般高校に転校し、東京への志向を持つようになりました。地方において閉鎖系の情報が開かれ、ようやく自身の進路を考えるようになりました。1953（昭和28）年3月、東京に向か

って青函連絡船に乗り、青森から汽車に乗って東京は上野に着きました。

18才の春、私は親元を離れ北海道函館から東京は新宿にやって来ました。新宿は私にとっての青春の門であり、大学でした。私は早稲田大学の理工学部に入って、新宿は余丁町に下宿をしました。当時の新宿は喫茶店が方々にあり、アメリカのジャズやヨーロッパのクラシック音楽が流れていました。

昭和28～32（1953～57）年頃の新宿は、戦後の焼け跡、傷跡があちこちにあり、新宿駅周辺には闇市風の屋台もあり、いまだ混沌としていましたが、戦後、都市再建に向かって新しい勢いがありました。新宿二丁目には売春街、赤線、青線がありました。売春防止法が施行されたのは、昭和33（1958）年でした。

昭和35（1960）年の安保闘争、昭和43～44（1968～69）年の国際反戦デーに全学連の行った闘争は新宿が舞台でした。

私は18才の春以来、91才の現在まで様々なかたちで新宿に関わってきました。改めて新宿の近現代史の年表を眺めてみました。

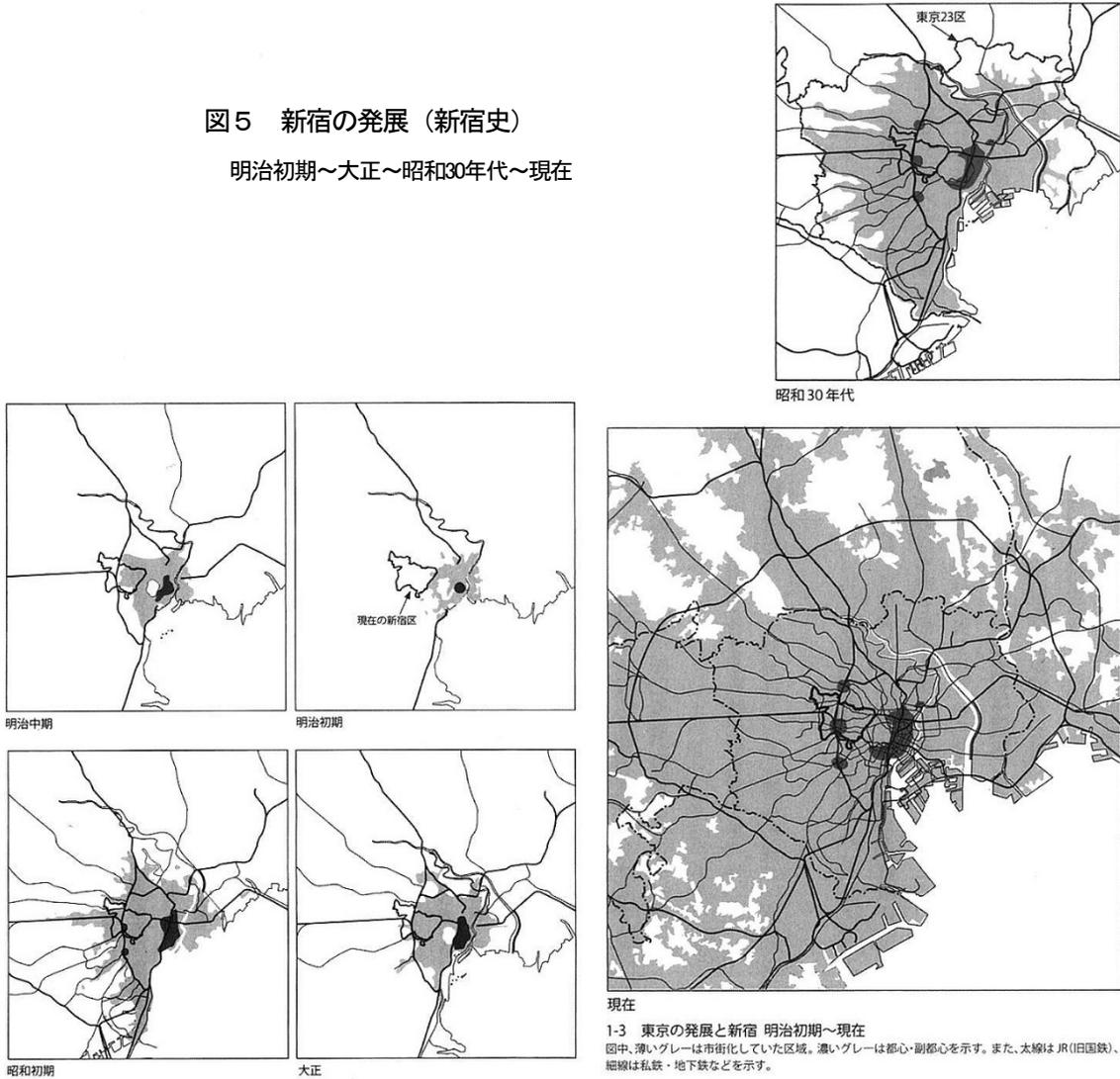
表1 新宿の近現代年表

元号	西暦	
昭和16	1941	太平洋戦争始まる。
17	1942	4月18日、新宿区内初めての空襲を受け、被害が出る。
18	1943	東京都発足（東京府→東京都）
20	1945	3月10日、東京大空襲（下町が中心） 四谷・牛込・淀橋地区の大部分が空襲により焼失。 8月15日、終戦 駅前に闇市ができる。
25	1950	区役所が歌舞伎町に置かれる。 名曲喫茶らんぶる開店
31	1956	新宿コマ劇場が開館。
33	1958	売春防止法施行適用。首都圏整備法により新宿が副都心に位置づけ
35	1960	自衛隊市ヶ谷駐屯地ができる。
36	1961	地下鉄丸ノ内線開通（新宿-東中野間）
39	1964	地下鉄東西線開通。東京オリンピック開催
40	1965	淀橋浄水場閉鎖、東村山に移転
41	1966	区役所本庁舎が完成。新宿伊勢丹会館開店 新宿駅西口立体広場が完成。この年、新宿駅の乗降客数が日本一になる。
42	1967	早稲田大学理工学部が大久保キャンパスに移転。
43	1968	新宿騒乱事件（10月21日、過激派学生4,600名、群衆2万名が新宿駅を占拠）
44	1969	西口地下広場反戦フォーク集会（7千名が集まり、機動隊がガス弾で制圧）
45	1970	三島由紀夫が自衛隊市ヶ谷駐屯地（現 防衛省）で割腹自殺
46	1971	新宿区内初、西新宿初の超高層ビル「京王プラザホテル」が開業
49	1974	新宿3丁目の地価公示価格が日本一となる。
60	1985	新宿駅開業100周年
平成元	1989	新宿歴史博物館開館。 小泉八雲の故郷、ギリシャのレフカダ町と友好提携都市となる。
3	1991	東京都新庁舎が完成。丸の内から都庁が移転
5	1993	東京都健康プラザハイジア完成
6	1994	東京都景観マスタープラン策定。 ドイツ・ベルリンのティアガルテン区（現ミッテ区）と友好提携都市となる。
7	1995	中国、北京市東城区と友好提携都市となる。
8	1996	新宿駅東西自由地下通路構想策定
9	1997	新国立劇場、東京オペラシティ完成
10	1998	JR東日本が新宿に移転。
11	1999	都営地下鉄大江戸線開通（新宿～光が丘）
12	2000	防衛庁が六本木から市ヶ谷駐屯地に移転。
13	2001	歌舞伎町ビル火災（44名死亡）。地下鉄大江戸線開通（新宿～環状部）。
14	2002	新宿都市計画審議会会長 戸沼幸市選出
16	2004	早稲田大学オープンカレッジで「新宿学」を開講
18	2006	新宿歌舞伎町ルネッサンス協議会発足。
19	2007	新宿区長に中山弘子氏選出
20	2008	新宿コマ劇場閉館。
23	2011	3月11日、東日本大震災
26	2014	新宿区長に吉住健一氏選出
令和4	2022	新宿長期計画「まちづくり戦略プラン改定」

出典：『新宿学』戸沼幸市編著、令和5（2023）追記

図5 新宿の発展（新宿史）

明治初期～大正～昭和30年代～現在



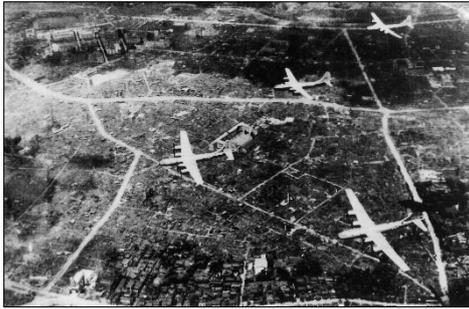
出典：『新宿学』

図6 闇市分布図



出典：『新宿学』

写真4 空襲



出典：『新宿学』

写真6 ゴールデン街



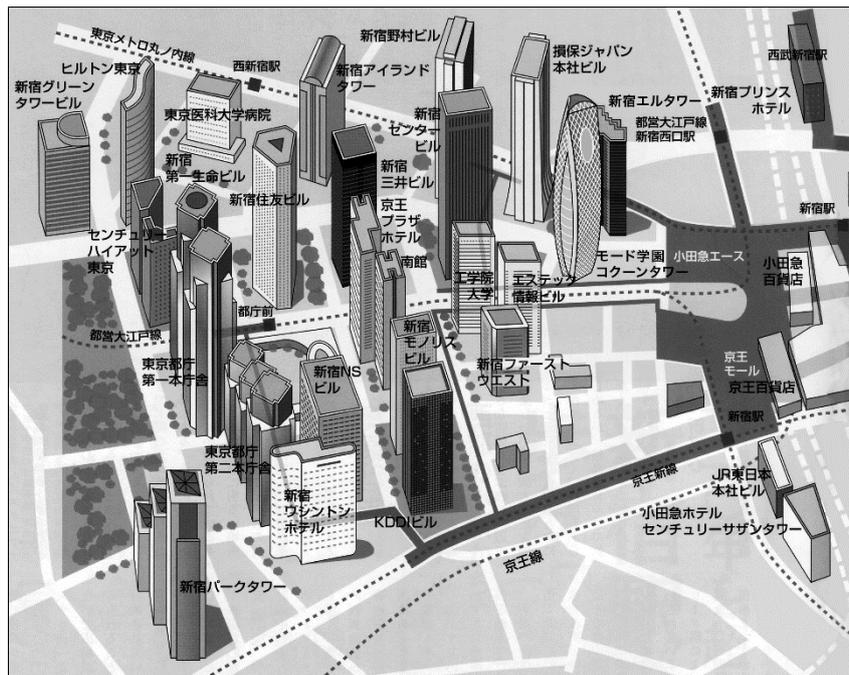
出典：『新宿学』

写真5 新宿駅東口の常設露店



出典『新宿学』

図7 西口超高層ビル街



出典：『新宿学』

2-2 昭和史

①戦前 1923年～1945年

表2 昭和史

元号	西暦	
大正12	1923	関東大震災
昭和6	1931	満州事変起こる。満州国建国
8	1933	日本が国際連盟脱退。
11	1936	2.26事件。「大日本帝国」の呼称決定。
12	1937	日中戦争始まる。
14	1939	第二次世界大戦起こる。 創氏改名（朝鮮戸籍法改正）。日独伊3国軍事同盟調印。 紀元2600年の大式典が催される。
16	1941	モスクワでスターリンと日ソ中立条約調印。 12月8日、真珠湾攻撃、太平洋戦争開戦。
18	1943	アッツ島玉砕。イタリア無条件降伏。学徒動員始まる。
19	1944	サイパン島陥落。神風特攻隊初出撃。
20	1945	日ソ中立条約破棄の通知。ドイツ降伏。 広島、長崎に原爆投下。 ソ連が満州に侵攻。 日本がポツダム宣言受諾。終戦の詔勅 マッカーサー来日、戦艦ミズーリ艦上で降伏文書調印。

参考：『昭和史 1926→1945』半藤一利著、平凡社

資料1 太平洋戦争の勃発

真珠湾(パール・ハーバー)攻撃 1941
 年12月8日早朝、日本軍によるマレー半島
 コタバル上陸、ハワイの真珠湾攻撃から太
 平洋戦争が開始された。オアフ島真珠湾に在泊していた
 米太平洋艦隊の戦艦9隻のうち、5隻が沈没、2隻が中
 大破した。空母3隻は出動中であつた。



出典：『日本史図録（第8版）』

資料2 本土空襲



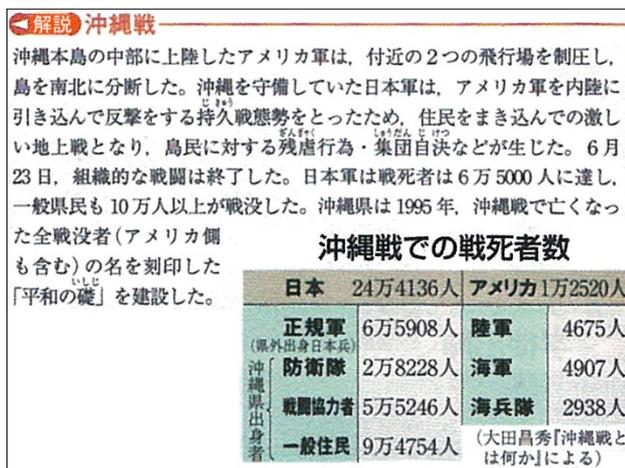
出典：『日本史図録（第8版）』

資料3-1 沖縄戦 沖縄の戦闘



出典：『日本史図録（第8版）』

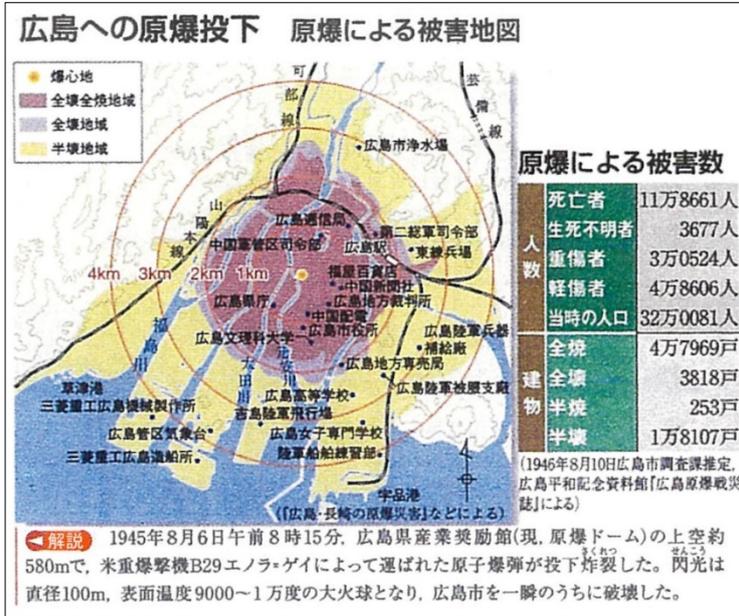
資料3-2 沖縄戦 沖縄戦での戦死者数



出典：『日本史図録（第8版）』

◀平和の礎
(糸満市磨文仁)

資料4 広島への原爆投下



出典：『日本史図録（第8版）』

資料6 太平洋戦争の被害

犠牲者数 (経済安定本部調べ)

	死亡	不傷行方不明
軍人軍属損害	155万5308人	30万9402人
統後人口被害	29万9485人	36万8830人

※ほか陸軍の行方不明約24万人あり

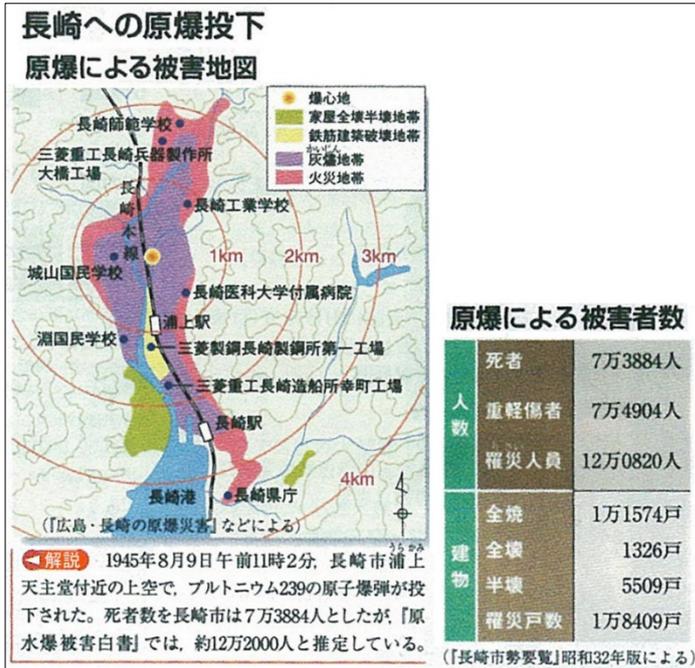
国富の被害

種類	被害率(%)
建築物	25
工業用機械器具	34
船舶	82
電気ガス供給設備	11
生産品	24
家具家財	21

(中村隆英『昭和経済史』による)

出典：『日本史図録（第8版）』

資料5 長崎への原爆投下



出典：『日本史図録（第8版）』

資料7 沖縄の日本復帰へ



出典：『日本史図録（第8版）』

②戦後 1945年～1989年

表3 昭和史

元号	西暦	
昭和20	1945	ポツダム宣言受諾、終戦。 マッカーサー来日、天皇マッカーサーを訪問。 GHQ占領政策が始まる。社会党結成。
21	1946	天皇の人間宣言。東京裁判始まる。 日本国憲法発布。ソ連、中国から引揚が始まる。
22	1947	日本国憲法施行。 ベビーブーム。アプレゲール。
23	1948	大韓民国・朝鮮民主主義共和国成立。 東京裁判判決、絞首刑執行。 ベルリン封鎖が始まる。
24	1949	1米ドル=360円の為替レートになる。 中華人民共和国成立。 湯川秀樹ノーベル物理学賞受賞。
25	1950	朝鮮戦争始まる。 満年齢の実施。
26	1951	対日平和条約・日米安全保障条約調印
27	1952	対日平和条約・日米安全保障条約発効 破防法公布。保安隊発足。
28	1953	中国からの引き揚げ再開。 朝鮮休戦協定。
29	1954	自衛隊発足
30	1955	保守合同で自由民主党結成。
31	1956	「もはや戦後ではない」経済白書。 日本が国連加盟。
32	1957	ソ連がスプートニク1号の打ち上げ成功。
33	1958	テレビ受信契約数が百万軒を突破
34	1959	ソ連のロケットが月面着陸に成功。 皇太子ご成婚。
35	1960	新安保条約強行採決、安保闘争。
36	1961	ベルリンの壁が築かれる
37	1962	女子学生亡国論（早大教授）
38	1963	ケネディ米大統領暗殺。
39	1964	東京オリンピック開催。東海道新幹線開業。 海外旅行自由化。
40	1960	米軍のベトナム北爆開始。アメリカで反戦運動。ベ平連がデモ 佐藤栄作首相、沖縄訪問。首相として戦後初めて。 大学生数が百万人を突破。
41	1966	中国で文化大革命が始まる。
43	1968	ベトナム特需。 明治百年記念（政府記念コンペ。21世紀の日本のかたちを求める。）
44	1969	東大安田講堂封鎖。機動隊による封鎖解除。 全米にベトナム反戦運動。
45	1970	大阪万博開催。
46	1971	沖縄返還協定調印
47	1972	軽井沢で浅間山荘事件。 沖縄本土復帰。 日本列島改造論（田中角栄）
48	1973	ベトナム和平協定調印
49	1974	コンビニ第1号が開店
50	1975	天皇・皇后が初訪米。
51	1976	中国で第一次天安門事件

元号	西暦	
52	1977	平均寿命、男女とも世界一になる。
53	1978	日中平和友好条約調印
54	1979	明治100年記念、佐藤栄作内閣「日本の国土と国民生活の未来像の設計」募集。 早稲田大学「ピラミッドから網の目へ」「アニマルから人間へ」早大が最優秀賞に イラン革命による第2次オイルショック。
55	1980	イラン・イラク戦争
56	1981	中国残留孤児が初めて正式来日。
58	1983	パソコン・ワープロなどが急速に普及
60	1985	群馬県御巢鷹山に日航ジャンボ機が墜落
61	1986	チェルノブイリ原発事故
62	1987	国鉄分割・民営化。地価高騰続く。 ソ連で「ベレストロイカ」
63	1988	イラン・イラク戦争
64/平成元	1989	昭和天皇崩御、平成時代となる。 中国で第2次天安門事件。 ベルリンの壁撤去

参考：『昭和史 1945→1989』半藤一利 著、平凡社

写真7 天皇とマッカーサー



出典：『昭和史 1945→1989』

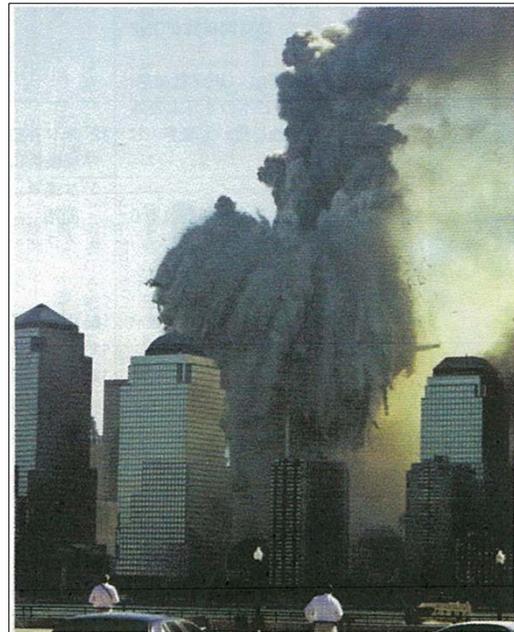
写真8 東京裁判の法廷で、
ヘッドホンをつけて陳述に聴き入る被告たち



出典：www.asahi.com 2024.6.5

同時多発テロの発生 2001.9.11 イスラム原理主義の過激派は旅客機を乗っ取って、世界金融の中心にあるニューヨークのウォール街に隣接する世界貿易センタービルに突入し、炎上・崩壊させた。

写真9 同時多発テロの発生



参考：『日本史図録（第8版）』 山川出版社

2020.1.25

3. 戦後、平和日本の原点、日本国憲法を読み直す一憲法九条改正への動きへの危惧

最近、日本製の兵器輸出の動きに合わせて、戦後日本を築いてきた「日本国憲法」の見直し、特に第九条改正の動きがあります。

言うまでもなく「第九条 戦争の放棄」は、戦後の日本を築いてきた理念の中核、支柱です。核戦争まで想定される近未来において、未来への意志として、これまで80年余、平和日本の支柱であり続けた第九条を是非守りつづけてほしいと願います。

際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。

第三章 国民の権利及び義務

～

第十一章 補則

昭和二十一年（1946）年十一月三日

大日本帝国憲法（旧憲法）

告文

第一章 天皇

第一条 大日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス

第二条 皇位ハ皇室典範ノ定メルトコロニヨリ皇男子孫ガ継承ス

第三条 天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス

第二章 臣民権利義務

～

第七章 補則

明治二十二（1889）年二月十一日

【参考資料】

『ガザとは何か』岡真理著、大和書房、2023

『青函連絡船』坂本幸四郎著、

朝日イブニングニュース社、1983.11.20

『新宿学』戸沼幸市編著、青柳幸人、高橋和雄、松本泰生著、紀伊國屋書店、2013

『昭和史 1926→1945』半藤一利著、平凡社、2009

『昭和史 1945→1989』半藤一利著、平凡社、2009

『日本史図録（第8版）』山川出版社、2020.1.25

日本国憲法

(2024.06.28)

前文

第一章 天皇

第一条 天皇の地位、国民主権

天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は主権の存する日本国民の総意に基づく。

第二章 戦争の放棄

第九条 戦争の放棄、軍備及び交戦権の否認

日本国民は、正義と秩序を基調とする国